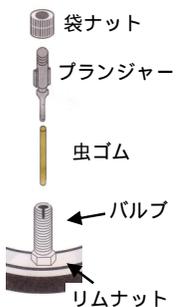


自転車パンク修理マニュアル

虫ゴムに問題が無ければパンク修理に必要な下記のを準備しましょう！
必要な物



パンク修理の前に虫ゴムをチェック

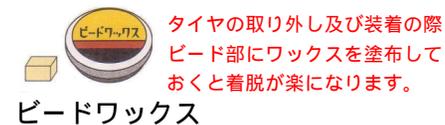
まず虫ゴムをチェックしましょう。タイヤに空気を入れバルブの先に石鹼水をかける。泡が出てくる場合虫ゴムが傷んでいるので交換する。
1) 袋ナットを外してプランジャーをバルブから取り出す。
2) 虫ゴムを外して新しい虫ゴムを装着する。



プランジャーのくぼみ箇所を覆うよう装着して下さい



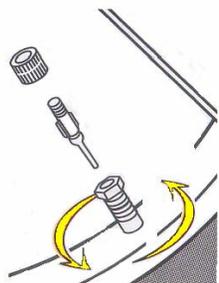
あると便利な物



それではパンク修理を始めましょう

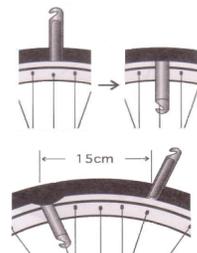
手順 1 バルブを分解する

袋ナットをはずしプランジャーを抜く。スパナ等でリムナットをはずす。



手順 2 タイヤをはずす

タイヤレバーをタイヤとリムの間に差込みテコの要領でタイヤを手前におこしてタイヤレバーのフックをスポークに引っ掛ける



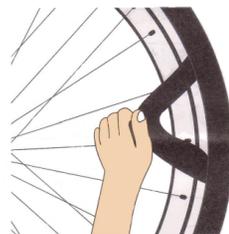
注意
タイヤレバーを差し込む時チューブを傷付けない様注意しましょう

2本目のタイヤレバーを約15cmはなして差込みと同じ作業をする。2本のレバーの間を少しずつはなして作業を繰り返すとタイヤが外れます。

ビードワックスをご利用いただくと楽に作業ができます。

手順 3 チューブを取り出す

タイヤとリムのあいだからチューブを引っ張り出す。



バルブの反対側からチューブを引き出すと楽に取り出せます。

手順 4 パンク箇所をさがす

バルブにプランジャーと袋ナットを付けて空気を入れる。チューブを水につけてパンク箇所をさがす。泡が出てくる所がそうです。1ヶ所とは限らないので一周すべてチェックしましょう。



パンク箇所にサインペンで目印をつけておきましょう。

手順 5 サンドペーパーでこする

空気を抜く。乾いた雑巾でパンク箇所の水分を拭く。サンドペーパーでパンク穴の周囲を貼りつけるパッチより広めにザラザラにする。



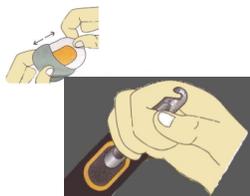
手順 6 ゴムのりを塗る

サンドペーパーでこすった部分にゴムのりを均一に塗る。塗布後、完全に乾かしてください。



手順 7 パッチを貼る

パッチの透明フィルムの端をつまみアルミ箔をはがす。パッチの中央に傷穴があたるようにチューブに貼り付けタイヤレバー等を利用して圧着する。その後、透明フィルムを取り去る。



アルミ箔側が接着面です。指で触らないよう注意しましょう。

手順 8 修理のチェックをする

もう一度、袋ナットとプランジャーを装着して空気を入れチューブを水に浸けて空気漏れがないかチェックする。

手順 9 タイヤのチェックをする

釘等の異物が残っていないか、タイヤの外側、内側をよく確認する。



ガラスや釘が刺さっていると危険です。軍手をはめて作業しましょう。

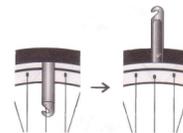
手順 10 チューブを元にもどす

袋ナットとプランジャーをはずして空気を抜く。まず、バルブをリムのバルブ穴に通しリムナットを軽く締める。次にチューブをタイヤの中に入れる。



手順 11 タイヤをはめ空気を入れる

手で出来る所までタイヤをリムにはめ込んでゆく。手で入らないようになればタイヤレバーを使って押し込むようにする。



リムナットを締め、プランジャー、袋ナットを装着し空気を入れ完了。